

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	食事や水分補給の際の飲料提供について職員目線での提供になっている事が多い。	利用者に飲料を選んでもらう事で、自己選択の機会を増やしていく事と個別に嗜好調査をして好みを把握する。	『飲料メニュー表』を作成する事や何が飲みたいか等、利用者に“選択”してもらい、自ら考えて発言する場を作っていく。	3ヶ月
2	45	入浴は毎日、3~4名の方が行われているが、基本的には『入浴予定表』に、その日に名前の拳がっている人しか実施していない為、毎日、全員に声掛けして入浴希望の有り無しを確認して希望者が入浴できる様にしていく事が必要。	入浴予定表に関わらず、毎日、声掛けして利用者が入浴するかどうかの選択をし、利用者の希望に添える様にしていく。	心身状態が安定している事を前提として全員に入浴希望の有り無しを声掛けして確認し、『入浴予定表』と照らし合わせながら調整して対応する。	3ヶ月
3	4	運営推進会議へのご家族の参加が少ない事で現状、会議での意見交換が少ない。ご本人・ご家族・地域・行政・施設間の繋がりが希薄になる事が懸念される。	運営推進会議へのご家族の参加を増やす事で、ご本人・ご家族・地域・行政・施設の繋がりを強くする。	会議の開催日時の検討と再度、ご家族への会議日の周知、また、都合の良い日時の調査等をしていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

NO. 4946

社会福祉法人 株式会社

2018年 2月11日 9時55分